

# 児童発達支援 自己評価表（職員による評価）

公表：令和2年3月

事業所名：こども発達支援センター

こども発達支援センター通園職員：16名

区分	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	改善目標、工夫している点など
環境・ 体制整備	1 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	6	7	3	活発に活動されるお子さんが多かったこともあり、保育室が狭く感じることもありましたが、その際は空いている空間を活用し、空間の確保に努めました。
	2 職員の配置数は適切であるか	12	4		法的な基準にそって職員を配置しています。登園クラスの状況によって応援の職員がいないこともあります。通園全体でカバーしています。
	3 生活空間は、子どもに分かりやすい環境になっているか。また、事業所の設備等について、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	12	4		“掲示物を最小限する・写真や文字等でスケジュールを伝える”等、お子さんに分かりやすい環境になるよう、努めています。
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間になっているか	9	7		定期的の日頃掃除しない場所を掃除するよにしています。また、園庭の草刈り等を行い、活動に合わせて空間作りを行っています。まだまだ行き届かない部分もあるので、心地よく過ごせる環境作りを心がけます。
業務改善	5 業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか	13	3		“目標設定し、振り返り、次につなげる”等のサイクルが定着し始めました。自分自身や担当間で振り返りを行い、次の目標を持って業務が行えるよう、より定着を図っていきます。
	6 保護者等向けアンケートや評価表を活用する等により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	16			独自アンケートや事業団のアンケートを年2回実施し、保護者様のニーズ把握を行い、より良い支援につなげています。
	7 この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	13	3		職員への周知を徹底します。
	8 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	16			定期的に第三者による評価を受けており、業務改善を行っております。
	9 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	16			十分とは言えませんが、引き続き研修の機会を確保し、スキルアップにつなげていきます。
適切な支援の提供	10 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、個別支援計画書を作成しているか	16			年間2回、個別支援計画書作成前に保護者様との懇談の中でニーズや課題等の共有を行い、懇談内容に沿って個別支援計画書を作成しております。
	11 子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	14	1	1	センター独自のアセスメントシートを使用しています。しかし、活用できていないこともあるので、活用方法等の確認を行っていきます。

区分	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	改善目標、工夫している点など	
適切な支援の提供	12	個別支援計画書には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援（本人支援及び移行支援）」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	13	3		個別支援計画書作成前にガイドラインを読み、ガイドラインの項目に基づいた個別支援計画書を作成し、支援を行っています。不足している部分は次の個別支援計画書で反映していきます。
	13	個別支援計画書に沿った支援が行われているか	15	1		個別支援計画書の目標に沿った支援を心がけて保育を行っています。
	14	活動プログラムの立案をチームで行っているか	13	3		打ち合わせの時間を確保するのが難しいこともありますが、複数の担任間で連携を行いながら取り組みを計画するよう、再度徹底します。
	15	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	16			子どもたちの変化や成長に応じて取り組み内容を工夫しています。
	16	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる個別支援計画書を作成しているか	15	1		集団で保育を大切にしていますが、中でも個別支援計画書の目標に基づき、個々に応じた支援も実施しています。
	17	支援開始前には職員間で必ず打ち合わせをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	14	2		まれに打ち合わせが行えないことがあります。その際は可能な限り時間を見つけ、今日の目的や役割分担等の確認を行っています。
	18	支援終了後には、職員間で必ず打ち合わせをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	10	5	1	複数のクラスを受け持っており、振り返りを行うことが困難なこともあります。時間をうまく確保し、振り返りを十分に行える工夫をしています。
	19	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	13	3		タイムリーに記録をとることができないこともあります。記録をとる時間を確保し、より良い支援につなげていきます。
	20	定期的にモニタリングを行い、個別支援計画書の見直しの必要性を判断しているか	15	1		定期的にモニタリングを行い、個別支援計画書の見直しを実施しています。目標を達成後は、お子さんの変化に応じて、新たな目標を設定し、その目標に沿った支援を行っています。
関係機関や保護者との連携	21	障害児相談支援事業のサービス担当者会議、関係機関や施設との連携会議に、その子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	15	1		足りていないと感じることもありますが、引き続きケース担当職員が参加していきます。
	22	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っているか	13	3		相談員や保健師等、幅広い分野の関係機関の職員との連携を深め、より良い支援につなげています。
	23	医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合は、地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っているか	14	2		
	24	医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合は、子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えているか	12	4		入園時に通われている病院や事業所を聞き取り、必要に応じて情報を収集・共有し、連携を行える体制を整えていきます。

区分	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	改善目標、工夫している点など
関係機関や保護者との連携	25	15	1		地域の園や学校へ入園及び入学される際には、事前に見学に来ていただいたり、療育のまとめや所定の書式に沿って書類を作成したりし、情報共有を行っています。再度連携を強化し、引き続き安心して新しい生活がスタートできるよう、支援していきます。
	26	11	5		
	27	12	4		具体的な連携としては不足している部分もあるので、助言していただける機会を確保し、より良い支援につなげていきます。また、研修には引き続き参加していきます。
	28	13	3		保護者様から他施設の利用の様子等お話を伺い、情報共有を行っています。引き続き必要に応じて訪問を行い、相談員とも連携を図り、情報共有を行っています。
	29	4	8	4	業務の体制上、積極的に参加できていない現状にあります。時間の許す限り、参加していきます。
	30	15	1		親子通園の中で、常に保護者様と話をしています。また必要に応じて個別での懇談も行っていきます。
	31	14	2		保護者支援として、学習会を実施しています。保護者様の意向に沿った内容となるよう今後も企画していきます。
保護者への説明責任等	32	15	1		利用者の方々に分かりやすく伝えられるよう、配慮しています。
	33	16			ガイドラインに基づき、個別支援計画書を作成しています。作成後保護者様にご説明し、同意を得ています。
	34	15	1		保護者様からの相談内容を傾聴し、可能な限り内容に応じた支援をしています。
	35	12	4		クラス懇談会やクラス単位での給食試食会等を実施し、保護者様同士が情報共有等を行う時間を設けております。しかし、不足していると感じることもあるので、新たな環境作りを目指します。
	36	16			苦情については、苦情に対応する体制を整えております。また、当センター以外に苦情等を申し出ていただける機関の連絡先を、重要事項説明書等に記載し、契約時に説明しています。

区分	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	改善目標、工夫している点など
保護者への説明責任等	37 定期的に保護者への伝達や会報発行等を行い、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	16			保護者様に伝達する必要がある内容については、タイムリーにお伝えするようにしています。また、“すてっぷ通信”として毎月保護者様に行事予定や活動報告、給食の献立等の発信を行っています。
	38 個人情報の取扱いに十分注意しているか	16			“名前をフルネームで記載しない・イニシャルを使用する・ブログ等で掲載する写真は個人が特定されないようにする（保護者様の意向に応じる）”等十分に配慮を行っています。
	39 障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	16			子どもさんや保護者様に対し、わかりやすく丁寧に意思の疎通をしたり、情報伝達したりするよう心掛けています。
	40 各市町の機関や地域の施設からの見学、実習生やボランティア受け入れ等、開かれた事業運営を図っているか	15	1		他機関や他事業所からの見学、多数の学校からの実習やボランティア等を受け入れ、当センターでの取り組み等を知っていただく機会を設けています。
非常時等の対応	41 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか	15		1	緊急時の対応や感染症対策のマニュアルは策定しています。保護者様に対しての周知ができていない内容もあるので、周知方法を検討し、実施につなげていきます。
	42 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	16			火災や地震等様々な場面を想定して、避難訓練を行っています。
	43 虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	15	1		当事業団や地域等で主催されている研修に参加し、状況に応じた対応を行えるようにしています。
	44 どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、個別支援計画書に記載しているか	15	1		保護者様に事前に説明し、ご理解をいただいております。また、個別支援計画書の記載も行い、安心安全な保育を行っています。
	45 事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか	16			医療的な配慮等に関しては、入園時等に情報を収集し、看護師を中心として聞き取りを行い、把握に努めています。
	46 食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	16			栄養士が中心となり聞き取りを行い、個々に応じた対応を引き続き行っていきます。
	47 ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	16			センター内で発生後、報告書を作成し、全体周知や報告書の回覧を行っています。また、回覧後はいつでも再度閲覧できるようにファイリングしています。